

◆大切なお知らせ◆

会費について過去5年間未入金の方は会員名簿から削除させていただきます。該当の方で、会員としての活動にご賛同いただける方は、会費の入金を何卒よろしくお願いたします。

◆編集委員よりお知らせ

次号の会報より、会員の皆様からの情報を掲載いたします。
演奏会や企画の案内など掲載したい情報を総務までお寄せ下さい。
紙面のスペース等により、掲載できない場合もございます。なお、会報発行は夏から秋にかけての年1回です。何卒ご了承下さいませ。
あわせて、ホームページの掲示板も是非ご活用下さい。

育成会同窓会のための情報連絡サイト
NHK邦楽技能者育成会同窓会の広場

<http://hougaku-ikuseikai.com/>

会員の皆様への情報発信を行っています。
また会員相互の情報交換の場としてご活用ください。

NHK邦楽技能者育成会同窓会事務局

住所：〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-9-304 古屋方
メール：n.ikuseikai.dousoukai@gmail.com
FAX：03-6800-2012
TEL：080-3081-6227

同窓会についてのお問合せ、ご意見など何でもご連絡ください。
各ジャンルの担当につながります。
なるべくメールもしくはFAXにてお願いいたします。

NHK邦楽技能者育成会同窓会 会報第7号

■役員・評議員体制について

令和元年度同窓会は、任期二年目につき引き続き以下の役員により運営されます。()内は卒業期

【理事】

後藤すみ子(2/副理事長)・杵屋静子(5/理事長)・古屋輝夫(16)・三橋貴風(17/副理事長)・釣谷真弓(27)
富緒清律(33)・福田栄香(33)・石川利光(37)・小林千恵子(46)今英里(50)・松本宏平(53)・福本礼美(54)
井上美和(55)

【特別会員理事】

秋岸寛久・板倉康明・菅野由弘・羽田野歌子(50音順)

【監事】

森田柁山(19)・原郷界山(44)

【評議員】

杵屋勝真代(6)・五味静子(7)・小林富美代(8)・久保暉子(9)・伊藤厚勢(12)・田辺園由香(13)
富成清女(15)・本荘洋子(16)・春原香代子(17)・大澤善子(18)・曾我哲山(25)・石川憲弘(26)
田辺頌山(27)・高橋春奈(28)・横山裕子(29)・山田明美(30)・山口連山(32)・合田真貴子(34)
大田由美子(35)・中川裕美(37)・※設楽瞬山(38)・山口賢治(39)・金田智子(40)・高橋裕恵(43)
川俣夜山(45)・中畝詩歩(48)・斎藤彩子(49)・熊本文(50)・岩本みち子(51)・佐々井真矢(52)
西山麻弥子(53)・馬場千年(54)・寺井結子(55)・以上33名 ※ = 評議員長

評議員会では、より多くの会員からの声を届けていただくためにも増員が望まれます。
評議員不在期はもちろんのこと、期に複数の評議員も可能です。立候補、直接のお声かけ
ならびに適任と思われる方のご紹介でもかまいません。評議員会では、評議員を随時募集
しております。

■第8回通常総会

去る令和元年5月22日(水)、渋谷区勤労福祉会館に於いてNHK邦楽技能者育成会同窓会第8回通常総会が開催されました。以下に議事録を掲載いたします。

NHK邦楽技能者育成会同窓会 第8回通常総会議事録
日時：2019年(令和元年)5月22日(水)13時～
場所：渋谷区勤労福祉会館第一洋室

開会宣言 司会 今英里(50)
定足数報告：会員総数550人出席26人+委任状259人=285人 過半数275人超→成立

議長選出：設楽瞬山(38)立候補→承認
議事録署名人(議長他2人)：山戸朋盟(14)・富緒清律(33)
書記(1人)：大田由美子(35)

議案審議

1) 2018年度(平成30年度)事業報告

* 総務チーム

・会報の作成、発送
・会員への周知
・大人の遠足企画実施
6/6神楽坂散歩・12/4小江戸川越散歩
・助成金交付年1回公募
3件に交付合計82,000円
会報にて、交付の結果と、3件の様子を報告する。

* 合奏団チーム

2018/11/5東京文化会館小ホールにて初公演
649の定員に対し、600名弱の来場者
<成果>・新作世界初演できた
・芸術祭参加が認められ、当日は8名の審査員来場。受賞は叶わなかった。
<収支>・わずかではあるが黒字になった
プレ公演の出演料が得られた。
助成金が3件より、計90万円、受けられた。
<反省>・想定以上の来場者で、受付対応で混乱した。
・練習場所、楽器借代が高額になった。
・来場者数、助成金、など初回の利点に甘んじることなく次回につなげたい。

* 研修チーム

・講習会実施(2曲)21名参加(2曲参加者10名)
・演奏会「響」開催49名参加来場者数174名
謝金の詳細説明の演奏会指揮指導料をお支払いしている方々も、同窓会員として、同様に会費をいただいている。
NHK-FMにて、放送された。
集客が今後の課題。

2) 2018年度(平成30年度)会計報告及び監査報告
・会費収入について
予算額は当時の会員数617名で算出
決算額は、513口で算出複数年分納めた方もある状況
・助成金応募者が少ない

「監査報告」

適正に処理されていることが証明された
拍手をもって承認された

3) 2019年度(令和元年)事業計画

* 総務チーム

・大人の遠足2回予定
1回目6/13 内容について説明
2回目冬 地方会員の参加も考慮し、金沢などを考案中。
・助成金交付
2019年2月に公募し、総務で検討、4件に決定
現在、周知方法として、会報で全会員に、メールアドレスのわかる会員には一斉メールをしている。1年先の計画を立てることは難しいこともあるので来年度から公募を年に2回にし、応募拡大につなげたい。

現在、周知方法として、会報で全会員に、メールアドレスのわかる会員には一斉メールをしている。1年先の計画を立てることは難しいこともあるので来年度から公募を年に2回にし、応募拡大につなげたい。

* 合奏団チーム

今年度の公演はしない。2020年6月くらいを考えている。
準備期間とし、オーディションの実施を考えている。

* 研修チーム

講習会の実施新たに聴講(5,000円)を設ける。
聴講も含め講習会参加者は演奏会「響」リハーサルの見学を可能とする。
演奏会「響」開催。会計上、厳しい状況もあるので、実施を見送ることも考えたが、昨年の参加者から実施希望の声も多く聞かれたので、実施することとした。会費は、出演曲数に関係なく25,000円とする。

4) 令和元年予算案

現状会費5年以上未納者は退会扱いとした(約200名)
今後の退会者も見込まれること、消費税増税、などから経理上厳しい状況である。各チームに独立採算の努力をお願いするなど、管理していく。前任から引き継ぎましたが、今後もサポートしていただきながらやっていきたい。

予算案について、拍手をもって承認された

5) 評議員会より

昨年度改編があり、委員長に設楽瞬山氏を選出した。不在期があるので、自薦他薦を期す。次回は7月初旬を予定。

6) その他

* * 地方チームについて
昨年度活動はなかった。今後について企画中。

* * 同窓会も設立7～8年になる10周年にむけてご意見

・理事会、評議員会で協議の場を設けてはどうか。
・同窓生の手元に眠っている写真などの資料収集し、記念誌にまとめては。
・音源の収集
・同窓会の活動を会員以外にも広げる、という案が当初から出していたが、10周年を機に再考してはどうか。
→研修チームの講習会に、同窓生以外にも公募するなどの企画も出ている。
・評議員会より、年に1回は同窓生全員に(把握している範囲で)何らかのお知らせをしてはどうか、と提案してきた。10周年を機に再考してみてもどうか。→理事会に持ち帰る。

* * 評議員会よりの報告は他にはないのか

* * 合奏団チーム初公演における委嘱曲の講習会を企画できないだろうか。同窓会初めての委嘱曲であり、講習会の実施なども含め大切にしていきたいと思っている。ただ、28パートという大編成のため、そのままでは取り上げにくいので、一般的な編成にするなど、委嘱者とも相談している。

* * 同窓会の中に「考」と「響」二つの演奏会があるのは、外部の人には不思議に思われているようだ。中には分裂しているのでは、とはっきり言う人もいる。→チラシ、プログラムなどで、主旨を明確に示していく必要がある。邦楽ジャーナルに記事として取り上げてもらう、なども一案では。今後も、外部の印象など、理事会に届けていただきたい。

議長解任
閉会

以上

■ 評議員会報告

昨年度の評議員会は、8月29日（水）に開催され、いつもながら活発な発言・議論と共に、有意義なご意見を賜りました。

理事会とも連携も取りつつ、今後は年内での評議員会の開催を、考えております。

会員の皆様からのご意見がございましたら、各期の評議員を通じ、ご意見をお寄せください。

また、評議員の不在期について、ご推薦・立候補等、随時承りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

■ 事業報告・計画 —— 総務

懇親企画 おとなの遠足レポート

平成30年12月4日 おとなの遠足 part5 小江戸川越散策と「とおりゃんせ」発祥の地をゆく

同窓会での遠足は、音楽に関係したところを選定するようにしている。今回はちょっと離れた小江戸言われる川越の散策とおおりゃんせ発祥の地を巡ると言うテーマ。川越不動尊など静かな所もめぐるので紅葉が美しいとされる12月に開催したところ、ちょうど見頃の紅葉狩りと相成った。

西武鉄道の特急レッドアロー号小江戸9号にて川越へ行く。この時運良く運転手さんと一緒に写真を撮っていただくことができた。こういうものは特に鉄道ファンではなくとも子供のようになんかテンションが上がるのが面白いところ。なかなか楽しい雰囲気での遠足の幕開けとなった。

成田山川越別院、川越不動尊と言われるところ。ここは四国八十八箇寺のお砂踏み霊場がありお遍路をめぐると同じご利益があるそう。真言宗密教の法具である大五輪も、よく見ると他にも古いものや貴重なものもさりげなくありうっかり過ぎ去ってしまっただけ。



喜多院では国指定重要文化財などたくさんのお寺もあるが今回とても面白かったのは五百羅漢。ここは日本3大羅漢の1つだそう。さすがに500余りの羅漢様は近づきがたい。少し勇気を出して覗いてみると本当に一体一体のお顔やポーズが違いとても興味深い。そして、ナント尺八を吹いている羅漢様を発見！お箏も探してみたが残念ながら見つからず。

さて、今回の目的でもある「とおりゃんせ」発祥の地である三芳野神社。なんと改修中。それでもお参りはできたので胸をなでおろす。神社はとてこじんまりしておりすぐ近くには川越本丸御殿もあり当時のお殿様や町の人々の情景を想像し「通りゃんせの碑」をみながら歌詞を鑑賞。

最後は蔵造りの街並みを散策。運良く「時の鐘」が鳴るところを聴くことができた。自動で鐘が打たれる様はちょっとした驚きであった。お買い物後はいつものごとくみんなでお茶をして今回も楽しい遠足はお開きとなった。

<今英里(50) 記>

令和元年6月13日 おとなの遠足 part6

山田流箏曲「七福神」を訪ねる 『日本橋七福神巡りと歴史見聞』

総務チームで始めた親睦企画「大人の遠足」は皆様のご協力のお蔭で恒例になりつつある。考えてみると、本当の育成会でも5月頃遠足があって、藤井凡大先生が同行して下さった記憶がある。

今回は同窓会の「part6 日本橋七福神巡り」で、令和元年6月13日10時、11人が水天宮前駅に集合。人形町・堀留町・小舟町あたりを半日参拝、見学して歩き回り、日本橋のたもとで解散した。

山田流箏曲の「七福神」の解説の必要から江戸末期の日本橋の古地図を調べ、それを片手に日本橋を歩いてみて、改めて認識したことは、江戸の政治の中心は江戸城だが、商業と物流の中心は日本橋だったということだ。

江戸の物流は、様々な物資が全国から廻船で江戸湾の隅田川の河口に集められ、そこで小型の高瀬舟に積み替えられた。積荷は隅田川を遡って日本橋川に入り、その支流として縦横に張り巡らされた堀割りを通して、塩河岸、米河岸などの蔵に納められ、あるいは魚河岸などで即売された。さらにそこから人足や大八車によって江戸市中に配送されたのだ。

今回の遠足では、歩いている道も、昔の堀割りを埋め立てて作ったことが分かるような遊歩道だったりした。

今の鐘橋のたもとには、昔の鐘の渡しの風景を描いた版画が案内板に刻印されている。そこには日本橋川をひっきりなしに行き来する無数の高瀬舟と、河岸を埋め尽くすように並んだ蔵の街並みの風景が描かれている。蔵には、米や酒が収められたのだろう。

「日本橋七福神」を巡って見ると、七福神に限らず、一軒家のような小さな神社がビルの狭間に無数に散らばっていた。昔の大名屋敷が、敷地の中にそれぞれの信仰する神社を祀っていたことの名残らしい。水天宮は七福神の中ではもっとも大きく、九州久留米藩の大名有馬家の上屋敷の中に、久留米の神社から神を分霊して祀ったものだそうである。

ここはまた、商人と職人の町でもあり、江戸時代から続く和紙問屋や江戸切子の店など、知らずに歩いていると通り過ぎてしまうような、博物館並みの充実した展示を持つ老舗の店も見学しがいがあった。

江戸の町人の文化の粋が残る日本橋の遠足、見残した所も多いので、第二弾の企画も構想中です。

<山戸朋盟(14) 記>



助成事業報告

同窓会会員の活動を支援するために平成29年度より事業化した助成金制度について、平成30年度は以下の事業に対して助成金が交付されました。また助成申請者より助成を利用した事業についてご寄稿頂きましたので掲載いたします。会員の各方面での活躍をご覧ください。（制度の詳細についてはホームページをご覧ください）

申請者（卒業期）	催事・公演名	主催者	実施日	実施場所	交付額
小濱明人（46）	第一回小濱明人尺八リサイタル	小濱明人	H30.10.16	MUSICASA	¥20,000
井上美和（55）	NHK邦楽技能者育成会55期生 第8回定期演奏会	NHK邦楽技能者育成会55期生の会	H30.9.13	すみだトリフォニー 小ホール	¥42,000
山口連山（32）	山口連山サロンコンサート15<花>	山口連山	H30.6.10	Gallery K	¥20,000

助成公演レポート

平成30年10月16日（火）ムジカーザ 「第一回 小濱明人 尺八リサイタル」

昨年、NHK邦楽技能者育成会同窓会より助成を頂き、下記の公演を実施いたしました。頂戴した助成金は、チラシ制作費の一部として使用させて頂きました。ありがとうございました。

入場者数：119名

<プログラム>

山越
一二三鉢返し
古伝巢籠
三谷
鹿の遠音
雲井獅子
手向
虚空

<出演者>

小濱明人（46期）
特別出演：石川利光（37期）



初めてのリサイタルにあたり、尺八 古典本曲に焦点を当てることにしました。長年研鑽を積んできた横山勝也師伝の本曲を、曲想に合わせ長短楽器の長さを変えて演奏。また、工法の違う三種類の楽器（現代管・古管・地無し管）を使い分ける事で、曲・プログラムに奥行きを持たせることにしました。また、助演には20年以上に渡りご教授頂いている、恩師 石川利光先生を神戸よりお迎えし、「鹿の遠音」と「雲井獅子」を連管 吹奏致しました。リサイタルの開催には不安が多かったのですが、NHK邦楽技能者育成会同窓会に助成を頂き、背中を押して頂いたおかげで、無事に終える事が出来ました。心より感謝申し上げます。

平成30年9月13日（木）すみだトリフォニーホール 小ホール
NHK邦楽技能者育成会第55期生 第8回定期演奏会「初秋の夕べ」

<プログラム>

春三題 長沢勝俊 作曲
Sonobe Alyssa Aska作曲
白銀の神殿 野村幹人 作曲（第55期生）
尾上の松 作者不詳・宮城道雄箏手付
箏篋歌 伊福部昭 作曲
ヴィヴァルディ コンチェルト イ短調
Antonio Vivaldi 作曲 唯是震一 編曲

～第8回定期演奏会 出演者（五十音順）～

阿佐美穂芽、井上美和、片平名緒衣、小泉美沙、近藤智子、坂本佳也、佐々木康夫、東海林一代、小路永和奈、田辺 明、寺井結子、長瀬建山、野村幹人、マクイーン時田深山、吉岡五月 計15名



第8回では、アメリカ人作曲家による十七絃独奏曲、55期生作曲による四重奏曲、また、昨年生誕340年を迎えたアントニオ・ヴィヴァルディの名曲など、多様に富んだプログラムとなりました。ご来場の皆様からは、平成最後の定期演奏会ということもあり心に残る内容だった、とご高評をいただきました。

今回も関係する皆様方の温かいご支援、励ましにより無事に終了しましたこと、出演者一同、心より御礼申し上げます。

助成事業計画

今までは年1回(概ね前年度2月頃)の申請受付としていましたが、1年先の予定は立ちづらい、年1回では機会を逃しやすいとの声を受け、より会員活動支援を拡充するため令和2年度の催しより年2回の申請とします。

- [第1期]
令和元年2月頃申請受付 → 令和2年4月1日～令和2年9月30日までの催事公演への助成
- [第2期]
令和2年8月頃申請受付 → 令和2年10月1日～令和3年3月31日までの催事公演への助成

申請受付時期が近くなりましたらホームページへ詳細を掲載します。また、メールアドレスをお知らせ頂いてる会員へはメールでも申請開始の旨、通知する予定です。（予算面等の事情により郵便等にて全会員へ通知することは行いませんのであしからずご了承ください。メールアドレスの登録は総務までご連絡ください。）

令和元年度事業計画 [総務]

【令和2年度 理事会役員選挙】

来年度に向けて、来春に選挙を行います。選挙のご案内は改めて行います。

【NHK邦楽技能者育成会同窓会創立記念10周年】

2021年（令和3年）に同窓会が創立10周年を迎えます。それにつきまして記念行事を開催する予定です。詳細は未定ですが、何かご意見、ご要望、またはお手伝いをいただける方は総務までお気軽にお問い合わせ下さい。今後の同窓会の発展を祈りつつ、邦楽を広げ繋いでいくという活動を皆様とともに行っていただけたらと思います。

【懇親会事業 遠足のご案内】

令和元年12月12.13日に金沢への遠足を行います。今回は、地方の方も参加しやすいように東京から離れての初の試みです。また、同窓生のご活躍も紹介できる内容となっています。遠方のため1泊2日にしていますが、日帰り、途中参加もできます。詳細は別紙チラシをご参照下さい。東京の遠足は遠くて来られない、という方はこの機会に是非ご参加下さい。※来年度も2回の遠足を予定しています。

【会報記事掲載のご案内】

会報に皆様の活躍を掲載してみませんか。会報は年1回の発行になります。応募多数の場合、紙面のスペース等により、掲載できない場合もございますので何卒ご了承下さいませ。

■ 事業報告・計画 —— 研修チーム

現代邦楽「響」2019実施報告

講習会

全2回：2018年9月29日10月21日
 場所：雑司ヶ谷地域 創造館東京芸術劇場
 講師：後藤すみ子氏 石川憲弘氏
 参加者：21名（内2コマ参加者10名）
 参加費：10,000円（2コマ目から+5,000円）
 内容：①四重奏曲（藤井凡大作曲）講師：後藤すみ子氏
 ②北国雪賦（長沢勝俊作曲）講師：石川憲弘氏

演奏会

2019年3月7日（木）18:30開演
 会場：渋谷区大和田伝承ホール（345席）
 入場料：前売3,500円 当日4,000円 学生500円（会員販売：3,000円）
 出演者：49名 参加費：20,000円（曲目追加+5,000円）
 プログラム
 北国雪賦（長沢勝俊作曲）指揮：石川憲弘氏（出演者：22名）
 嘉木の序－茅場版－（角篤紀作曲）指導：福田輝久氏（出演者：6名）
 四重奏曲（藤井凡大作曲）指導：後藤すみ子氏（出演者：17名）
 三角州（松本雅夫作曲）指導：後藤すみ子氏（出演者：11名）
 太棹協奏曲（牧野由多可作曲）指揮：石川憲弘氏（出演者：21名）
 ＊打楽器助演1名
 入場者数計：174名（内訳：一般158名 学生：8名 ご招待：8名）



現代邦楽「響」2019 収支決算

	予算		実績		
	収入	支出	収入	支出	
会費・楽器レンタル代	1,200,000		1,607,500		会費・楽器レンタル代
チケット売上	450,000		167,000		チケット売上
同窓会補助	950,000		950,000		同窓会補助
NHK出演料			378,000		NHK出演料
会場費(本番・リハーサル)		450,000		423,728	会場費(本番・リハーサル)
音楽費		620,000		651,898	音楽費
文芸費		50,000		50,648	文芸費
印刷費		100,000		52,548	印刷費
謝金		600,000		662,500	謝金
通信費		100,000		89,730	通信費
会議費		200,000		267,008	会議費
事務費		150,000		96,078	事務費
交通費		100,000		92,820	交通費
その他		30,000			その他
運営費		200,000		150,000	運営費
次年度繰越					次年度繰越
合計	2,600,000	2,600,000	3,102,500	2,536,958	合計
次年度繰越				565,542	次年度繰越
合計	2,600,000	2,600,000	3,102,500	3,102,500	合計

- * 会費収入：演奏会会費、楽器レンタル代金、講習会参加費（演奏会：49名・講習会：21名）
- * チケット売上：58枚 会員販売 3,000×44枚 一般(会員外)4,000×8枚 学生 500×6枚
- * 会場費：伝承ホール(201,448円) 講習会2回、リハーサル5回(221,280円)、他
- * 音楽費：楽器店(624,000円)、本番使用備品(椅子 10,000円)、JASRAC(17,898円)
- * 文芸費：チラシ、プログラムデザイン料
- * 印刷費：チラシ、チケット、プログラム作成費
- * 謝金：講習会講師(後藤先生 石川先生)
 演奏会指揮指導料(後藤先生2曲 石川先生2曲 福田先生1曲)
 角篤紀先生改訂版作曲謝礼 打楽器(富田慎平氏)賛助出演料
 当日スタッフ10名謝礼 講師、賛助出演者車代(駐車場代)
- * 通信費：募集案内送付代(586通) 招待状送付代(120通) 楽譜、チラシ、連絡文書、お礼状送付代
- * 会議費：講習会・演奏会お弁当代、茶菓子代、演奏会打上補助

現代邦楽「響」2020実施計画

演奏会

日時2020年3月9日(月)夜公演
会場渋谷区大和田伝承ホール(345席)

コンセプト：現代邦楽作品の採掘と継承
指揮者、指導者を設け、より高い演奏を目指す
講習会、リハーサルを通じて会員に研鑽の場を提供する

<プログラム>全4曲(100分程度休憩15分含む)
1.須唄流三章(藤井凡大作曲)指導：後藤すみ子氏
2.箏のためのオデッセイア(新実徳英作曲)指導：新実徳英氏
3.幻舞三章(牧野由多可作曲)指揮：石川憲弘氏
*他1曲(未定)

入場料前売り：3,500円当日券：4,000円学生：500円(会員価格3,000円)
会費25,000円(会費13,000円+チケット4枚配布)2曲以上出演可

講習会

日程：2019年9月29日(日)11月(日にち未定)
場所：雑司が谷地域創造館他
講師：後藤すみ子氏・石川憲弘氏
内容：

①須唄流三章(藤井凡大作曲)講師：後藤すみ子氏
②幻舞三章(牧野由多可作曲)講師：石川憲弘氏
会費：1コマ10,000円2コマ15,000円(2回分楽器代含む)聴講5,000円

*演奏会の出演にかかわらず参加可能
*講習会申込者は、演奏会リハーサルについても(須唄流三章、オデッセイア、幻舞三章)聴講可能



講習会(昨年)の様子

現代邦楽「響」2020予算案

	演奏会		講習会		計		
	収入	支出	収入	支出	収入	支出	
会費	1,250,000		200,000		1,450,000		会費
チケット売上	200,000				200,000		チケット売上
会場費		360,000		40,000		400,000	会場費
音楽費		430,000		200,000		630,000	音楽費
文芸費		50,000				50,000	文芸費
印刷費		60,000				60,000	印刷費
謝金		450,000		100,000		550,000	謝金
通信費		70,000		30,000		100,000	通信費
会議費		230,000		20,000		250,000	会議費
事務費		90,000		10,000		100,000	事務費
交通費		90,000		10,000		100,000	交通費
その他		20,000		5,000		25,000	その他
運営費		180,000		20,000		200,000	運営費
計	1,450,000	2,030,000	200,000	435,000	1,650,000	2,465,000	計
同総会補助	15,000		235,000		250,000		同総会補助
前回繰越金	565,000		0		565,000		
計	2,030,000	2,030,000	435,000	435,000	2,465,000	2,465,000	計

*収入算出根拠

演奏会会費：25,000(チケット4枚)×50名 講習会会費：10,000×20名

チケット追加：会員3,000円×50枚 + 一般販売、当日券

*謝金内訳

講習会講師謝礼：2名分

演奏会：指揮者、指導者、助演料(打楽器)、当日スタッフ

■ 事業報告・計画 —— 合奏団チーム

公演報告

同窓会を母体とした演奏に特化したグループをとの声から設立準備が進められ、平成29年に行われたオーディションを経て、平成30年に演奏団が設立されました。本演奏団を「現代邦楽“考”」と名付け、平成30年9月1日「全国邦楽合奏フェスティバル」(主催 NPO法人全国邦楽合奏協会)にてプレ公演を行い、11月5日東京文化会館小ホールにて初公演を開催いたしました。



プレ公演

2018年9月1日(土)

NPO法人全国邦楽合奏協会主催 第5回全国邦楽合奏フェスティバル
洗足音楽大学 現代邦楽研究所 & 現代邦楽“考”
スペシャルジョイントコンサート ~邦楽合奏の新地平へ~

<現代邦楽“考”プログラム>
・ 絲竹交響第二番 / 藤井凡大
・ 日輪幻影 / 菅野由弘

<指揮> 板倉康明

設立公演

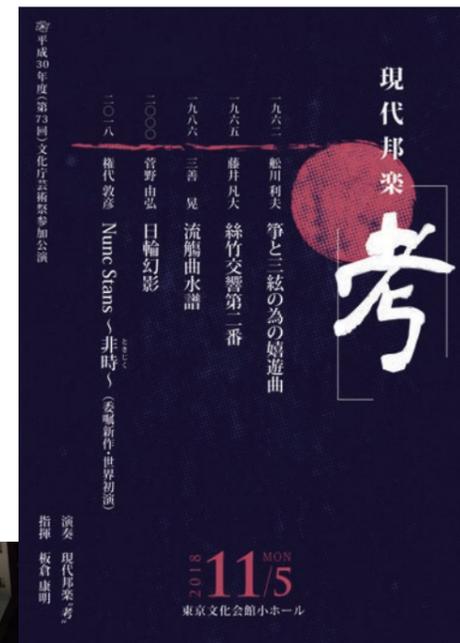
<プログラム>

1. 箏と三絃のための嬉遊曲 / 船川利夫 (1962)
2. 絲竹交響第二番 / 藤井凡大 (1965)
3. 流觴曲水譜 / 三善晃 (1986)
4. 日輪幻影 / 菅野由弘 (2000)
5. Nunc Stans ~ 非時 (ときじく) ~
/ 権代敦彦 (委嘱新作・世界初演)

<指揮> 板倉康明 (2,4,5) [同窓会特別会員理事]

<助成> アーツカウンシル東京 / ロームミュージックファンデーション / 花王芸術・科学財団

- ・ 入場数: 559人(半券)+αで約600名弱 (有料入場者数412)
- ・ 文化庁芸術祭参加公演にできたこと(受賞には至らず)、また委嘱新作世界初演を含めた反響の大きさ等から非常に手ごたえが感じられた。



Nunc Stans~非時~ 初演

現代邦楽“考” 公演収支決算

収入の部			
大項目	小項目	金額	計
チケット収入	出演者販売分	930,000	
	追加販売分	184,000	
	当日売上	18,000	
			1,132,000
出演料	9/1全国邦楽合奏フェスティバル	150,000	150,000
自己負担	楽器レンタル・運搬費会員負担	321,120	321,120
助成金	同窓会本体補助	500,000	
	助成金	900,000	
			1,400,000
			3,003,120

支出の部			
大項目	小項目	金額	計
制作費	指揮料	300,000	
	委嘱料	500,000	
	著作権使用料	88,764	
	パート譜製作費	50,000	
			938,764
会場・楽器費(本番)	施設使用料(演奏会会場)	235,000	
	施設使用料(演奏会控入室・調弦室)	51,900	
	付帯設備使用料	51,140	
	演奏用椅子借用料	7,500	
	琴光堂謝礼	400,000	
			745,540
会場・楽器費(練習)	施設使用料(練習会場)	231,980	
	楽器レンタル・運搬費	356,360	
			588,340
資料制作・印刷費	印刷費(チラシ・チケット)	87,920	
	印刷費(プログラム)	127,872	
	印刷費(その他資料)	4,080	
			219,872
謝金	寄稿文謝礼	30,000	
	スタッフ謝礼	66,000	
			96,000
広告宣伝費	広告宣伝費	82,080	
	チラシ挟み込みサービス利用料	10,368	
			92,448
記録費	撮影費	50,000	50,000
通信費	通信費	82,200	82,200
食糧費	弁当	66,528	
	ケータリング	4,725	
			71,253
その他	消耗品費	24,688	
	運搬交通費	10,340	
	振込手数料	1,144	
			2,920,589
			82,531

令和元年度事業計画 [現代邦楽“考”]

次回公演を次年度、令和2年6月11日@豊洲シビックセンターホールと決め、助成申請等の準備を進めております。それに先立ち今年度は2回目のオーディションを行い、メンバーのさらなる充実を期したいと思っております。

平成30年度 NHK邦楽技能者育成会同窓会 収支決算報告書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

2019年 5月 22日

1.一般会計

(収入の部)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会費	1,851,000	1,539,000	312,000	513口入金 (2019/4/19 546名在籍)
繰越金	6,182,147	6,182,147	0	
雑収入	0	50	50	普通預金利息
合計	8,033,147	7,721,197	311,950	

(支出の部)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
事業補助				
講習会	250,000	250,000	0	
演奏会「響」	700,000	700,000	0	
公演チーム	500,000	500,000	0	
			0	
事業費				
総会	12,000	12,000	0	会場費
会報作成費	50,000	41,154	8,846	印刷・デザイン等
会議費	60,000	14,800	45,200	理事会・評議員会 諸経費
助成金	300,000	82,000	218,000	助成件数3件
HP管理費	60,000	60,000	0	
印刷費	40,000	40,295	-295	総会関係・会議資料等
通信費	300,000	235,527	64,473	郵送費
事務作業費	150,000	28,140	121,860	議事録・文書作成費等
文具・消耗品	30,000	21,361	8,639	
人件費	50,000	40,000	10,000	発送アルバイト料
交際費	50,000	16,200	33,800	慶弔費・菓子折等
雑費	60,000	30,894	29,106	FAX・振込手数料等
予備費			0	
合計	2,612,000	2,072,371	539,629	

差引残高 5,648,826 円は、2019年度に繰越いたします。

上記のとおり、報告いたします。

2019年5月22日 会計 小林千恵子

監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告いたします。

2019年5月22日 会計監査 森田柊山

2019年5月22日 会計監査 原郷界山

2019年度 NHK邦楽技能者育成会同窓会 収支予算案

2019年 5月 22日

収入の部

項目	金額	備考
会費収入	1,638,000	546名×@3,000
		*昨年入金実績 1,539,000円 (513口)
小計	1,638,000	
前期繰越金	5,648,826	
収入合計	7,286,826	

支出の部

項目	金額	備考
事業費	総会	12,000 会場費
	会報作成費	50,000 印刷・デザイン
	会議費	60,000 理事会・評議員会 諸経費
	助成金	300,000
	研修チーム	250,000
	公演チーム	0
	総務チーム	50,000
	小計	722,000
管理費	HP管理費	60,000 年間管理費 (固定)
	印刷費	50,000 総会関係・会議資料等
	通信費	300,000 郵送、切手代
	事務作業費	80,000 議事録、文書作成費
	文具・消耗品費	30,000
	人件費	50,000 発送アルバイト料
	交際費	50,000 慶弔費、菓子折等
	雑費	60,000 FAX契約料、携帯
小計	680,000	
合計	1,402,000	
次期繰越	5,884,826	
支出合計	7,286,826	